

市バス・地下鉄の経営状況

市バスの経営状況

(単位：億円 税抜)

	R元	R2	R3	R4
経常収入	256	234	237	237
運輸収益	175	128	135	141
運輸雑収	39	39	39	34
一般会計補助金	41	65	61	60
その他	1	2	2	2
経常支出	244	242	246	257
人件費	131	130	132	134
経費	97	95	99	105
その他	16	17	15	18
経常収支	12	▲8	▲9	▲20

1

2

3

①乗車人員の減少に伴い運輸収益も大きく減少（令和4年度予算では、コロナ前の令和元年度と比較して▲34億円）

②経費は、原油価格高騰に伴い自動車燃料費が増加。今後も社会経済情勢の変化に伴う経費の増加が懸念される

③経常収支は、令和2年度決算では、平成17年度以来の赤字となり、以降3年連続で赤字が見込まれる大変厳しい状況

※R元～R3は決算額、R4は予算額

地下鉄の経営状況

(単位：億円 税抜)

	R元	R2	R3	R4
経常収入	929	677	721	746
運輸収益	768	535	586	616
運輸雑収	67	60	59	63
一般会計補助金	54	44	39	31
その他	40	38	37	36
経常支出	778	764	755	762
人件費	263	265	262	266
経費	210	205	209	213
その他	305	294	284	283
経常収支	151	▲87	▲34	▲16

1

2

3

①乗車人員の減少に伴い運輸収益も大きく減少（令和4年度予算では、コロナ前の令和元年度と比較して▲152億円）

②経費は、原油価格高騰に伴い地下鉄動力費が増加。今後も社会経済情勢の変化に伴う経費の増加が懸念される

③経常収支は、令和2年度決算では、平成19年度以来の赤字となり、以降3年連続で赤字が見込まれる大変厳しい状況

※R元～R3は決算額、R4は予算額